

キャッシュレス決済普及における 地域振興への導入アプローチ

リンクオフィス 長谷川友幸

背景と課題

- 背景
国でキャッシュレス化を推進する動きはあるが、都市部とそれ以外の地域では普及に差がある。
- 課題
都市部以外の地域のキャッシュレス普及率を上げることがカギとなるが、地域の特性が多種多様なため導入効果を予測しにくく導入判断が難しい。

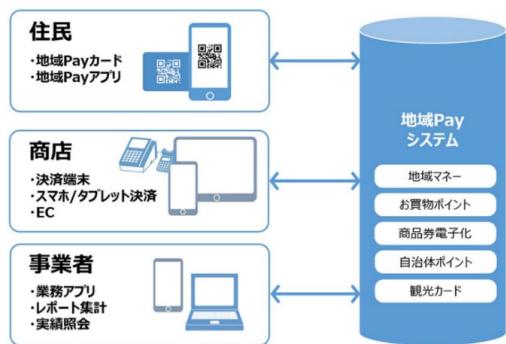
手法・ツールの適用による解決

- ・3地域をモデルケースとして地域特性を捉え、パターン化し指標とできないか試みる。
- ・実績データが無い場合、仮説をもとに進める。
- ・新製品普及モデルとして古くから知られている「BASSモデル」を採用する。
- ・シミュレーション結果を踏まえ、普及施策を検討できるようにする。

シミュレーションによるアプローチ概要

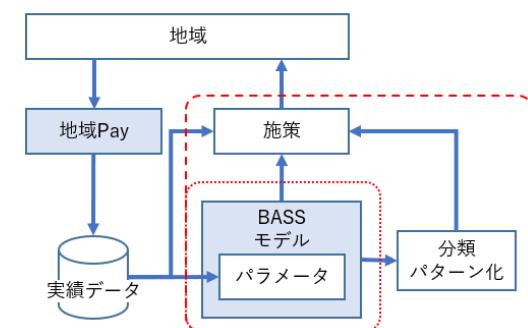
「地域Pay」の概要

地域へのキャッシュレス化提案



普及施策の展開イメージ

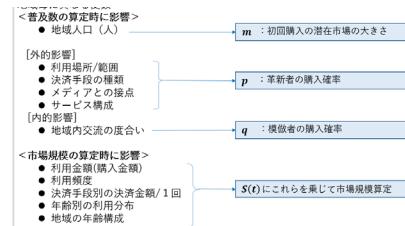
地域の特性を捉え有効な施策を立案するためのモデルを構築



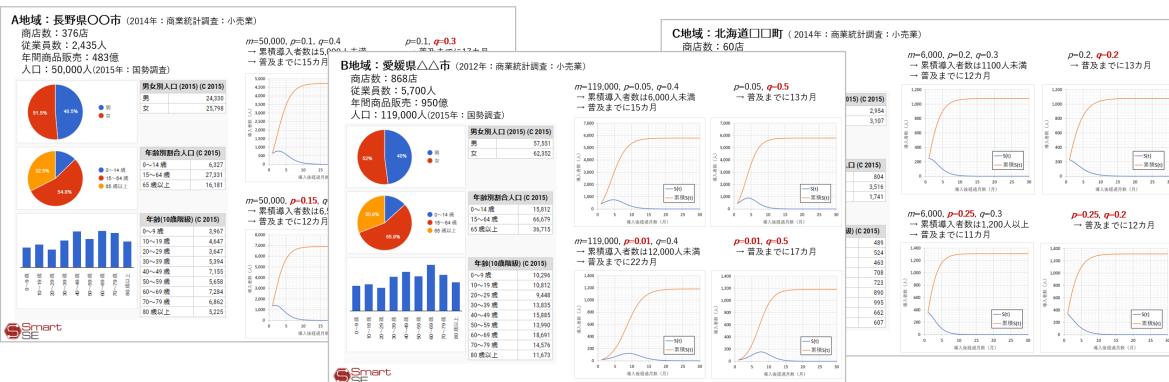
BASSモデル(新製品普及モデル)

仮説ベースでパラメータを設定

$$S(t) = m \left[\frac{(p+q)^2 e^{-(p+q)t}}{1 + \frac{q}{p} e^{-(p+q)t}} \right]^2$$



地域毎のシミュレーション結果(A地域・B地域・C地域)



リーカンキャンバス ビジネスモデルの理解

<p>なぜ普及しないのか? (Why doesn't it spread?)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス決済の普及が難しい 決済手段の多岐にわたる 決済手段の普及率の低さ 決済手段の普及率の低さ 決済手段の普及率の低さ 	<p>なぜ普及しないのか? (Why doesn't it spread?)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 	<p>なぜ普及しないのか? (Why doesn't it spread?)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する 地域特性を捉え、有効な施策を立案する
---	---	---

まとめ

普及を促進させるためには、外的影響に掛かる取組みはもとよりだが、内的影響の要因となる消費者・自治体・商店などステークホルダーの交流度合いを深めることも重要な要素であることがわかった。今後の施策提案として、市場規模に応じた外的要因の視点にとどまることなく、内的要因への提案も新たな試みとして展開することが有効と考える。

今後の取組みと課題

- モデルケースの精度向上**
→実績データでパラメータを改善し、地域特性を捉え、パターン化によるマトリクスを作成。
- コミュニケーション施策の展開**
→利用者と未利用者をつなぐ施策の取組みなど。
→例) 利用履歴メールを用いた「見守り機能」
- キャッシュレス化の阻害要因に対する取組み**
→課題を設定し、課題解決へのアプローチを検討。